

topics

りんご樹で
フクロウの雛育つ

01

前相馬地区の柴田康平さんの園地では、3月上旬から5月末までフクロウの雛3羽がりんごの樹の空洞に住み着いていた。

もぞもぞと動く雛の巣の周りを、鋭い目をした親フクロウが警戒していた。

園主の柴田さんは「何年か前もフクロウが同じところに住み着いたことがあった。その時はネズミの被害も少なく大変助かった。これからもフクロウが住みやすい環境を作っていきたい」と話していた。



洞からフクロウの雛が顔をのぞかせる

topics

摘花作業が
ピークを迎える

02

管内の生育が早い場所では摘花作業が最盛期を迎えていた。5月上旬からの気温が20度越を記録し、適度な降雨があった事からりんごの生育は順調に進んだ。

生産者は「急な気温の上昇により、朝と夕方では様子が変わっている程生態が早く進んでる。これから生態に合わせて作業が遅れないよう安全に進めていきたい」と話していた。



摘花作業に精が出る生産者ら

topics

「青天の霹靂」
田植え開始

03

5月16日、ライスロマッククラブが青天の霹靂の田植えを開始した。今年は育苗期間中の根詰りや、大雨で作業が順調に進むのか不安視されていたが、無事に作業が終了した。

作業中には大場勉組合長と三上隆基専務が現場へ様子を見に足を運び、作業員らの労をねぎらっていた。大場組合長は「苗の生育と田植えのタイミングを合わせる事は難しいが今回も上手く進んで良かった。今年の出来秋に期待したい」と話していた。



進行状況を話し合う大場組合長と三上専務

topics

市長現地視察に訪れる

04

5月17日、藤沢地区の林崎孝人さんの園地にて櫻田宏弘前市長が霜の被害や現在の生育状況などを確認した。

櫻田市長は「家族経営で更に後継者もいるということで、安心して農業に取り組めると思います。相馬管内も若い農業者がいて聞いたので地域の活性化にも期待したい」と林崎さんと話し、相馬のりんご産業の未来を楽しみにしていました。



生育状況を林崎さんと確認する櫻田市長（写真右）

topics

安定した除草剤散布

05

5月26日、紙漕沢地区の成田祐介さんの田園にてドローンを使用した除草剤散布を行った。

ドローンを使つての除草剤散布は管内では初めてであり、当日は風が強かったが、オペレーターは長年の経験と勘で問題なく散布していた。

園主の成田さんは「ここまで風の影響を気にすることなく、均一に散布することが出来るのはとてもいい。今後も利用したい」と話していた。



散布の状況を確認する成田さん（写真左）

topics

実すぐり巡回講座開催

06

5月26日、紙漕沢りんご支会が実すぐり巡回講座を行った。

りんご協会理事の山本富幸氏が他管内の生育状況やこれからの作業について説明。その他、農業振興課から紙漕沢地区の生育状況、販売課から販売情勢等の説明もされた。

成田要支会長は「毎年会員らはこの講座を楽しみにしている。タイムリーな話題を細かく聞くことが出来て良かった」と喜びを語った。



実すぐりの要点やコツを確認する会員ら

直売所「林檎の森」

副リーダー 三上翔平



いつも直売所「林檎の森」をご利用いただきありがとうございます。

店内では地場産の葉物野菜やアスパラ、スティックブロッコリー、はつか大根などが沢山出荷されています。季節の変わり目の風邪や、

コロナウイルス予防のため、新鮮な地元の野菜をたくさん食べて体の免疫力を高めましょう。

そのほかにも山菜の「ミズ」がたくさん入荷しています。「ミズ」はシャキシャキとした食感とみずみずしさが好評で地元の方から県外の方まで購入しています。電話

での問い合わせも多く、地方発送でもたくさん注文が来ており、山菜の中でも根強い人気となっています。定番のさざなみの和え物や、油揚げとの炒め物等作ってみてはいかがでしょう。ワラビやふきの出荷のピークは過ぎましたが、こちらも様々な料理に使うことが出来ることから好評となっております。一度にたくさん購入する方が多く

見られます。

そのほか、ワラビなどの山菜の水煮もあり、煮る手間を掛けず料理できるものもあります。

今年もサクランボの美味しい季節がやってきます。一昨年迄の様に直売所前での販売予定はありませんが、店内には美味しいサクランボが沢山入荷する予定ですので楽しみにしてください。御来店を心よりお待ちしております。



天然の「ミズ」が店内に沢山並ぶ